

台湾日語教育学会・輔仁大学日本語文学系

2022 年度台湾日本語教育研究国際學術シンポジウム

『世界』に繋がるための日本語・日本語教育

日時：2022 年 11 月 19 日（土）

場所：輔仁大学 徳芳外語大楼

[プログラム]



0830-0900	受付	輔仁大学 徳芳外語大楼	
0900-0910	開会式	会 場 輔仁大学 徳芳外語大楼 FG507 教室 開会の辞 楊錦昌 (台湾日語教育学会理事長) 村嶋郁代 (日本台湾交流協会広報文化部部長) 司 会 覃顯勇 (台湾日語教育学会副秘書長)	
0910-1010	基調講演 1 [リモート]	会 場 徳芳外語大楼 FG507 教室 座 長 黃翠娥 (輔仁大学教授) 講演者 伊東祐郎 (国際教養大学専門職大学院教授) 題 目 グローバル社会における日本語教育 —再考！デジタル教育に求められる日本語教師の力量—	
1010-1025	休憩時間	記念写真撮影 [ティー・ブレイク]	
1025-1125	基調講演 2 [リモート]	会 場 徳芳外語大楼 FG507 教室 座 長 曾秋桂 (淡江大学教授) 講演者 小松太郎 (上智大学総合人間科学部教育学科教授) 題 目 オンライン交流の可能性： COIL・協働学習そして日本語学習を通じた紛争後社会の平和構築	
1125-1135	休憩時間		
1135-1205	招待講演 [リモート]	会 場 徳芳外語大楼 FG507 座 長 賴振南 (輔仁大学教授) 講演者 張根壽 (祥明大学教授兼 韓国日語教育学会会長) 題 目 世界につながる日本語 教育—韓国の異文化コ ミュニケーションの授 業事例—	会 場 徳芳外語大楼 FG303 座 長 賴錦雀 (東呉大学特聘 教授) 講演者 奥村訓代 (北洋大学 学長兼日本比較文化 学会顧問) 題 目 もし日本語・日本文 化が世界に広まれば
1205-1315	1 会員大会、投票 徳芳外語大楼 FG507 教室 座長 楊錦昌 (台湾日語教育学会理事長) 司会 覃顯勇 (輔仁大学助理教授兼副秘書長) 蘇鈺甯 (長栄大学副教授兼理事長補佐) 2 昼食 (会場 FG306-308)	ポスター発表 (会場 FG302 廊下)	

会場	第一会場	第二会場	第三会場	第四会場
1315- 1320	<b>論文発表 1</b> 会場 (FG302) 座長 中村祥子 (輔仁大学副教授兼進修部日本語文学系主任)	<b>論文発表 2</b> 会場 (FG303) 座長 王世和 (東呉大学教授兼外語学院院長)	<b>論文発表 3</b> 会場 (FG202) 座長 林立萍 (台湾大学教授兼日本研究中心主任)	<b>論文発表 4</b> 会場 (FG204) 座長 陳志文 (高雄大学教授兼語文中心主任)
1320- 1340	簡中昊 (屏東大学助理教授)	相澤由佳 <b>[リモート]</b> (韓国聖潔大学助教授)	李桂芳 (輔仁大学助理教授)	馮寶珠 (輔仁大学教授)
	大鹿卓研究—「鉦山師の世界」への思索を試みる—	韓国の高校教科書における日本文化に関する一考察—ダイアログと文化のつながりを中心に—	初中級日本語学習者の自己訂正能力を高める段落構造の指導	AI 技術による日本語中級読解教科書の研究—教科書の複合動詞の用例を中心に—
1340- 1400	王佑心 (銘傳大学副教授)	沈美雪 (文化大学副教授)	蔡佩青 (淡江大学副教授)	王睿琪 (東京外国語大学特別研究員) 林俊成 (東京外国語大学教授)
	筒井康隆『残像に口紅を』試論—「世界」に繋がる「言語」の方法を考える—	ノベルゲーム制作を取り入れた日本文学の講義の試み—「走れメロス」を例として—	SDGs カードゲームを用いた作文授業の実践—協同問題解決を目指して—	学習者主体型と教師主導型を融合した読解授業に関する実践的研究
1400- 1410	質疑応答	質疑応答	質疑応答	質疑応答
1410- 1415	<b>休憩時間</b>			
1415- 1420	<b>論文発表 5</b> 会場 (FG302) 座長 齋藤正志 (文化大学教授)	<b>論文発表 6</b> 会場 (FG303) 座長 林玉恵 (銘伝大学教授兼応用日語学系主任)	<b>論文発表 7</b> 会場 (FG202) 座長 馮寶珠 (輔仁大学教授)	<b>論文発表 8</b> 会場 (FG204) 座長 黄英哲 (台中科技大学副教授)
1420- 1440	曾秋桂 (淡江大学教授)	守屋久美子 (東京外国語大学兼任講師) 林俊成 (東京外国語大学教授) 羅曉勤 (台中科技大学教授)	佐藤(内田)良子 (東海大学助理教授) 東弘子 (愛知県立大学教授) 王怡人 (東海大学助理教授)	横川彰 (静宜大学講師)
	世界に繋がる映画『ドライブ・マイ・カー』と村上春樹の原作—AI 技術との協働を図って—	オンライン上の関係性構築におけるプラットフォームの有効性—遠隔日本語教育実習における実習生—学習者間の関係性構築へ向けて—	COIL 型授業に関する実践研究—台中学・中區/名古屋市・中區ものがたりをテーマにした協働学習—	日本語会話授業に及ぼすマスク着用の影響—新型コロナウイルス感染防止期間を振り返り—
				神作晋一 (南台科技大学助理教授)
				台湾の科技大学日本語学科における日本語会話力強化プログラムの

				実践—「2師6生」の活動について—
1440- 1500	葉菱 (淡江大学副教授)	城戸秀則 (東呉大学博士課程)	齋美智子 (高雄科技大学助理教授) 林蕙美 (高雄科技大学助理教授)	江俊賢 (高雄科技大学助理教授)
	村上春樹『東京奇譚集』における世界と環境	シテイルの指導の一試案—「習慣」を表すシテイルと関連させて—	台日大学間の COIL の実践と課題—	台湾人日本語学習者の日本語会話における「たら・ば中斷節」の使用—I-JAS コーパス調査に基づいて—
1500- 1510	質疑応答	質疑応答	質疑応答	質疑応答
1510- 1540	休憩時間 [ティー・ブレイク]			終了時間 : 15:35
				休憩時間
1540- 1545	<b>論文発表 9</b> 会場 (FG302) 座長 邱若山 (静宜大学兼任教授)	<b>論文発表 10</b> 会場 (FG303) 座長 蔡佩青 (淡江大学副教授兼日本語文学系主任)	<b>論文発表 11</b> 会場 (FG202) 座長 許孟蓉 (輔仁大学副教授兼日本語文学系主任)	<b>論文発表 12</b> 会場 (FG204) 座長 羅曉勤 (台中科技大学教授)
1545- 1605	林雪星 (東呉大学教授)  林芙美子「シベリヤの三等列車」論	陳文瑤 (東海大学副教授)  自ら発信する力を育成するオンライン多国研修活動—参加者の意識変化からみる—	施列庭 (輔仁大学副教授)  スマートフォンを用いたアクセント指導の試み	張瑜珊 (東海大学副教授)  異文化の声を個々の交流を通して教室に入れていく
1605- 1625	齋藤正志 (文化大学教授)	鄭家瑜 (政治大学教授)	梁蘊嫻 (元智大学副教授)	石川隆男 (台湾大学・輔仁大学兼任助理教授)
	石井遊佳『百年泥』論—「世界」に繋がる「日本語教育」の観点から—	『世界』に繋がるための多言語多文化学習の挑戦と展望—政治大学の「国際授業」を例として	コンピュータ支援言語学習による学習成果—スクラッチゲームを中心に—	世界にコミット、コンピテンシー教育の必要性
1625- 1635	質疑応答	質疑応答	質疑応答	質疑応答
1635- 1640	休憩時間			
1640- 1745	<b>パネルディスカッション</b> <b>【世界に繋がる外国語と外国語教育】</b> 会 場：徳芳外語大楼 FG202 教室 座 長：楊錦昌 (輔仁大学日本語文学系教授兼台湾日語教育学会理事長) <b>【日本語】</b> (50 音順)			

	パネリスト 1 伊東祐郎(国際教養大学専門職大学院教授) パネリスト 2 王淑琴(政治大学日本語文学系主任) パネリスト 3 奥村訓代(北洋大学学長兼日本比較文化学会顧問) パネリスト 4 小松太郎 (上智大学総合人間科学部教育学科教授) パネリスト 5 張根寿(祥明大学教授兼韓国日語教育学会会長) パネリスト 6 中村祥子(輔仁大学日本語文学系副教授兼進修学士班主任) パネリスト 7 羅濟立 (東呉大学日本語文学系主任兼台湾日本語文学会理事長) <b>【中国語】</b> パネリスト 8 施佑芝(輔仁大学英国語文学系主任) パネリスト 9 莊適瑜(輔仁大学德語語文学系元副主任) パネリスト 10 杜孝捷(輔仁大学西班牙語文学系助理教授兼台湾西班牙語学会理事)	
1745-1750	閉会式	会 場 德芳外語大樓 FG202 教室 閉会の辞 許孟蓉 (輔仁大学日本語文学系主任) 選挙結果 楊錦昌 (台湾日語教育学会理事長) 司 会 黃佳慧 (台湾日語教育学会副秘書長)
1750-1930	懇親会 (德芳外語大樓 FG507)	

1205-1315	<b>【ポスター発表】 (50音順)</b> 会場 (FG302廊下) 簡曉花 (中華大学応用日語学系教授) 張欽智 (中華大学資訊工程学系助理教授) <b>【12:40~13:15 (会員大会後)】</b> : Web Mining を生かした日本文化関連授業のグループレポート学習 宋波 (輔仁大学日本語文学系修士課程) : 米澤穂信研究—ミステリー小説における青春探偵キャラクターを中心に— 李羿萱 (輔仁大学日本語文学系修士課程) : 吉屋信子『花物語』研究 —水仙— 林恆立 (靜宜大学日本語文学系助理教授) <b>【12:40~13:15 (会員大会後)】</b> : 副詞の意味と用法—単文と複文の構造に基づく検討— 劉語心 (輔仁大学日本語文学系修士課程) : 連城三紀彦研究—『戻り川心中』を中心に
-----------	--

主催：台湾日語教育学会、輔仁大学日本語文学系

助成：国家科学及技術委員会、教育部、独立行政法人国際交流基金、輔仁大学研究發展處

後援：公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所、輔仁大学外国語学部、韓国日語教育学会、日本比較文化学会、台湾日本語文学会、台湾日本語言文芸研究学会

